

## 令和元年度第1回 尼崎市スポーツ推進審議会 会議録（要旨）

- 日時：令和元年5月15日（水）午後1時00分～午後2時05分
- 場所：教育委員室
- 出席委員：6人  
伊藤委員（会長）、河野委員（副会長）、坂本委員、村上委員、安浪委員、玉井委員
- 事務局：5人  
教育長（途中退席）、社会教育部長、スポーツ推進課長、スポーツ推進課係長、スポーツ推進課主事
- 傍聴者：なし

### 議題1

#### 尼崎市スポーツ推進計画（第2期）に係る諮問について

事務局 （諮問書の読み上げのみ）

### 議題2

#### 尼崎市スポーツ推進計画（第2期）策定スケジュールについて

事務局 （事務局からの説明のみ）

### 議題3

#### 「尼崎市 運動・スポーツ活動に関する意識調査」の結果報告について

委員 尼崎市民の週1回以上のスポーツ実施率は54.8%、国は65.0%となっていますので、国と比較して15.0%ほど低くなっています。今後、どのようにして尼崎市民のスポーツ実施率を向上させていくかがポイントとなってきます。また、この1年間にどのような運動・スポーツを行ったかについてですが、ゴルフ（コース）が4位にきており、特徴的だと思います。

事務局 尼崎市にはゴルフのコースがないため、尼崎市民は他市に行き、ゴルフを行う形となります。なお、実施率につきましては、年代別で見ると50代の実施割合が最も高く、性別では女性よりも男性の方が高い結果となっています。

委員 尼崎市は、高齢者の人口が増加しているため、高齢者スポーツの推進が重要であると思っています。高齢者が気軽にウォーキングを行うことができるコースを設定したり、高齢者スポーツの拠点づくりをしたりしてはどうでしょうか。また、スポーツクラブ21についてですが、その認知度が低いと思いますので、認知度の向上に向けた取組が必要です。最後に、情報発信についてですが、ネット社会においても紙媒体の市報が重要という結果となっていますので、市報にスポーツ専用ページを設けるなどしてはどうでしょうか。

委員 今後どのようにして情報発信を行っていくかの具体的な施策を考えていく必要があります。

委員 運動不足を感じている市民の割合が76.2%と高くなっていますので、運動不足を感じている市民の割合を減らすために、ニーズに応じたスポーツ施策を実施する必要があります。

委員 子育て中の女性に話を聞いたことがあります。市報は、子どもの予防接種などの情報が掲載されているので必ず見ており、予防接種以外の情報にも目を通すので、スポーツ情報が掲載されている場合は、スポーツ情報についても知ることができるとのことでした。一方、ホームページで情報を見る場合は、必要な情報のみを見ることが多いので、その部分が市報とホームページの違いだと思います。

委員 スポーツ推進委員の認知度が低いことにショックを受けています。スポーツ推進委員はさわやか地域スポーツ活動を行っていたり、市民マラソンなどの事業に参画したりしていますが、そのことが市民に広まっていないのだと思います。

#### 議題 4

##### 施策間連携ツールについて

委員 他市において、施策間で連携を行うための資料を見たことがないので画期的な取組であると思います。スポーツ推進計画は、総合計画の施策 2 生涯学習に位置付けられていますが、スポーツの場合は、他の施策にも大きく関わると思います。

委員 この施策間連携ツールを利用して、部署を超えた連携を行っていただきたいです。

委員 スポーツ推進審議会が出た意見や要望を、市長部局に伝える際にも利用することができるので、今後より良いツールになることを願っています。

#### 議題 5

##### スポーツ団体に対する補助金の交付について

事務局 (事務局からの説明のみ)

以 上